

# 9月1日は「防災の日」 いざという時の備えは万全ですか

大雨等による水害や地震など、私たちは常に災害が身近にあることを認識していなければいけません。台風も多いこの季節、いざという時に命を守る行動ができるよう、日頃の備えをしっかりとしておきましょう。

※参考：加古川市危機管理課資料 他

## 防災マップは家族全員・ 全社員が確認を

最近では、大雨による河川の氾濫などの報道をよく目にするようになり、災害に対する危機意識も高くなってきました。

加古川市では9月中を目途に、総合防災マップ更新版を全戸配布する予定にしています。防災マップは地震編と水害編で構成されており、地域別の最大震度や津波・高潮による浸水被害の想定のほか、避難場所等も記載されています。

この防災マップでは従来の概ね150年に一度の大雨（計画規模降雨）に加え、概ね1000年に一度の大雨（想定最大規模降雨）を想定、この場合は2日間で750ミリ程度の雨が降ると予想されています。近年、河川整備の目安となる概ね150年に一度の大雨を上回る降雨により甚大な洪水被害が全国各地で発生していることから、想定し得る最大規模の降雨（概ね1000年に一度の大雨）による「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えに立ち、新たに洪水浸水想定区

域図が作成されました。配付された防災マップで、自宅・職場がどういった被害になるのかを把握し、災害が起こった時の避難方法等について、家族・職場内で確認しておくようにしましょう。

## 避難するタイミングは？

災害時は市が、避難情報を発令します。その際、左記の警戒レベル

警戒レベル	避難情報など	市民が取るべき行動
市が発令	レベル5 災害発生情報	すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を取る
	レベル4 避難指示(緊急) 避難勧告	速やかに避難場所へ向かう。避難場所への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全な場所に避難する
	レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(高齢者や障がい者、乳幼児等)とその支援者は避難を開始。その他の人は避難準備を整える。
気象庁が発表	レベル2 注意報	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認する。
	レベル1 早期注意情報	災害への心構えを

ルを用いて発信します。近年では、平成30年の「平成30年7月豪雨」の際、洪水の恐れが高まったため、「避難勧告」が発令されました。またこの年は「避難準備・高齢者等避難開始」が7月から10月に各一回ずつ発令されています。

避難のタイミングは難しいかもしれませんが、「自宅が安全か、避難所が安全か」また同じ避難でも「学校なのか公民館なのか」など発信される避難情報をもとに判断し、「避難勧告」が出たら「避難指示」を待たずに、速やかに危険場所から全員避難します。

また、市が発令する避難情報を基準にしながら、それに頼るばかりでなく、自分自身で考えて避難する意識も持ちましょう。被災した地域がニュースで報道されると「今まで経験したことない」「まさかこんなことになる」とは「まさか」などの言葉が聞かれます。これらの災害は今まで考えてこなかったリスク(被害)を考えて動かなければなりません。

「自分の家は頑丈だから大丈夫」と思わず、「もしかしたら」と考

えて、自分の命は自分で守る行動を取るようになりましょう。

## 避難所のコロナ対策は？

災害から命を守るための避難所ですが、今年は新型コロナウイルスへの感染も心配されます。

左のフロー図を参考にし、時には自宅・職場の上階へ避難すること(垂直避難)も選択肢にいれ、さまざまな避難方法や感染症対策を知って、安全・安心な避難のための備えをしましょう。避難所では、手洗い・マスク・

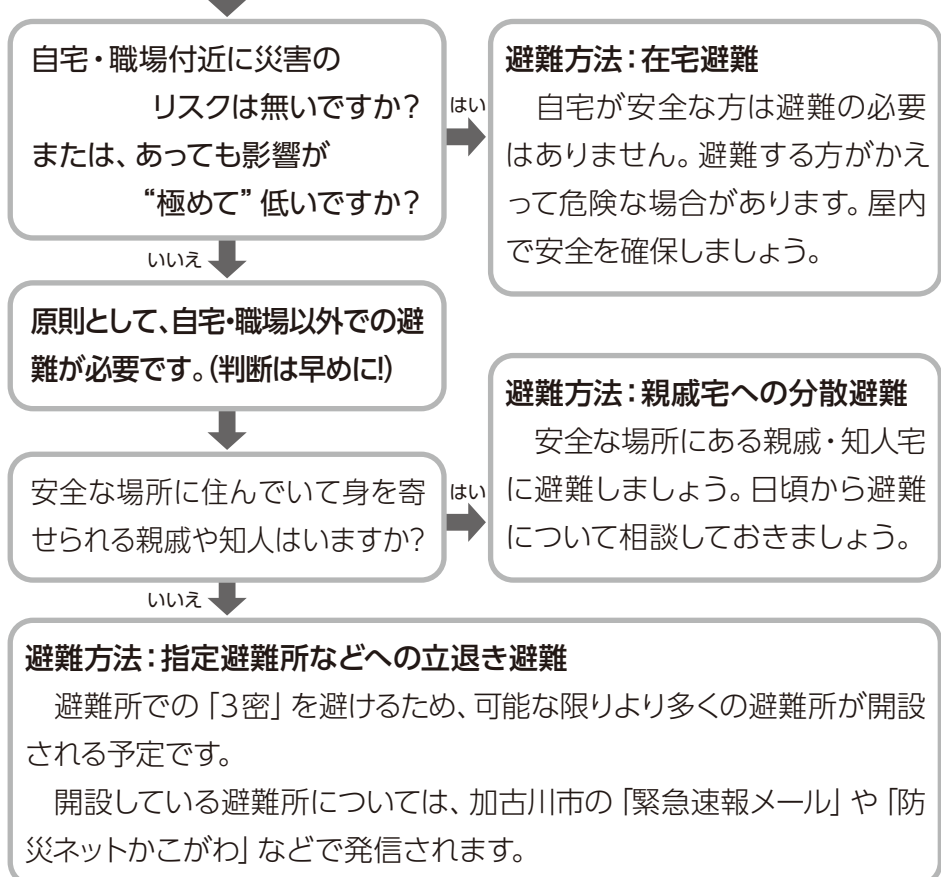
消毒の徹底のほか受付時の健康チェック、避難者間のスペース確保、定期的な換気が実施されます。避難所へ避難する際は「うつらない・うつさない」の気持ちを持って、感染防止対策に努めましょう。

また、感染症対策品を追加した非常持出品の準備も必要です。必要なものは各世帯で異なりますが、食料や飲料水などに加えて、感染症対策に有効なマスクや体温計などもできる限り持参しましょう。

## 避難所以外への避難(分散避難)も 選択肢の一つです!

- 避難とは、「難」を「避ける」こと。災害時に危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 避難先は、市の公共施設だけではありません。安全な親戚の家やホテルの利用など、さまざまな避難方法を検討しましょう。

### 自宅・職場付近の災害リスクを市の防災マップで確認しましょう



## ◆感染症対策に有効な 非常持出品の例

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液
- ハンドソープ(共用しない)
- 使い捨てビニール手袋
- 上履き・スリッパ等

## ◆通常の非常持出品の例

- 食料
- 水
- 常備薬
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- ポリ袋(通常より多めに)
- タオル
- 携帯トイレ
- 緊急時に連絡すべき親戚等の連絡先一覧
- モバイルバッテリー
- 現金など貴重品